

教科等横断的な視点を取り入れた授業実践

外国語科

第3学年

《教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成》

1 学習の基盤となる資質・能力の育成について

・問題発見・解決能力の育成

本実践では、海外の姉妹都市の学校との交流を通し、それぞれの文化や生活を聞いたり、伝え合ったりする学習を多面的に行う。オンライン会議システムによる「直接交流」や、オンラインホワイトボード（ツール）を活用し交換日記を行う「間接交流」を通して、それぞれの国の文化や生活を紹介したり、質問したりする場を設けている。伝えたいことを考えたり、相手の日記を読んで疑問に思ったことを質問したりすることで、生徒が目的意識や相手意識をもち、学んだ英語を実際に使う学習を行う。他国の生徒とのやりとりは、今後のグローバル社会を身近に感じる一助となる。総合的な学習の時間において行われる「グローバルキャリア宣言」の中で、今後のグローバル社会を生き抜くために大切にしたい自分の資質や考えを見いだしていく活動を行う。外国語科をはじめとした各教科等横断的な学習を通し、今後のグローバル社会への意識を高め、学習への理解をより深めていく。

・情報活用能力の育成

本実践では、「直接交流」として、海外の生徒とのオンライン会議システムでの交流会を行う。学んだ英語を使用し、自分の考えをまとめ、質問をすることや、相手の質問や場面に応じて情報を整理しながら、自分の答えを伝える活動を行う。また、「間接交流」のオンラインホワイトボード（ツール）では、自分の日記を通して授業で学んだ表現を用いながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合う活動を行う。相手の日記を読み、情報を整理・分析し、自分の感想を伝え合うことを繰り返し行う。常に相手意識をもつことで、どのような英語表現が適切かを考え、写真やイラストを使い効果的に伝え合うようにしていく。

・言語能力の育成

本実践では、即興的なやりとりの中での相手の発話を理解したり、自分の考えをまとめ表現したりする力を「直接交流」を通して育成する。また、「間接交流」のオンラインホワイトボード（ツール）では、日記を記入したり、クラスメイトや姉妹都市校の生徒の日記を読んだりすることで、情報を整理し、理解する力を養う。そこから自分の考えや気持ちをまとめ、感想を繰り返し伝え合う活動を通して、既習の学習事項の振り返りや、書いた文章の改善を図ることができる。自ら言語面・内容面での振り返りを行い、コミュニケーション能力だけでなく、言語への理解を深めることができるようにしていく。

2 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成について

本実践では、ICTの活用として、オンライン会議システムやオンラインホワイトボード（ツール）を使用した学習を行う。GIGAスクール構想が始まり、よりICTの活用が求められる学習の中で、ICT機器を主として使用した学習を行う。その中で、メディアリテラシーを考えること、また情報モラルを常に意識しICTを活用することの重要性を学んでいく。また、国際理解教育の視点では、他国に暮らす同世代の生徒との交流を通して、相手の立場に立ってお互いを理解する力や、多様なバックグラウンドをもつ相手に、自分の考えをわかりやすく伝えたりする力を育成していく。

1 単元名 「Stage Activity2 Discover Japan」 ～姉妹都市交流会を通して～

2 単元の目標

- 詳しい情報を加えながら日本の文化や生活などを紹介する文について、話すことや書くことができる。〈知識及び技能〉
- 姉妹都市の生徒に日本の文化や生活をより分かりやすく伝えられるよう、写真やレイアウトを意識し、まとまりのある文章を書くことができる。〈思考力、判断力、表現力等〉
- 姉妹都市の生徒に分かりやすく質問し、相手の話していることを正確に聞き取ることができる。〈思考力、判断力、表現力等〉
- 相手意識をもち、分かりやすく伝えたり、相手を理解しようとして、書かれた文章を読んだり、質問したりすることができる。〈学びに向かう力、人間性等〉

3 教科等横断的な視点を取り入れた授業実践について

(1) 単元で育てたい力

- 姉妹都市の生徒に日本の文化や生活をより分かりやすく伝えられるよう、整理して文章を書くことができる。【外国語科：言語能力】

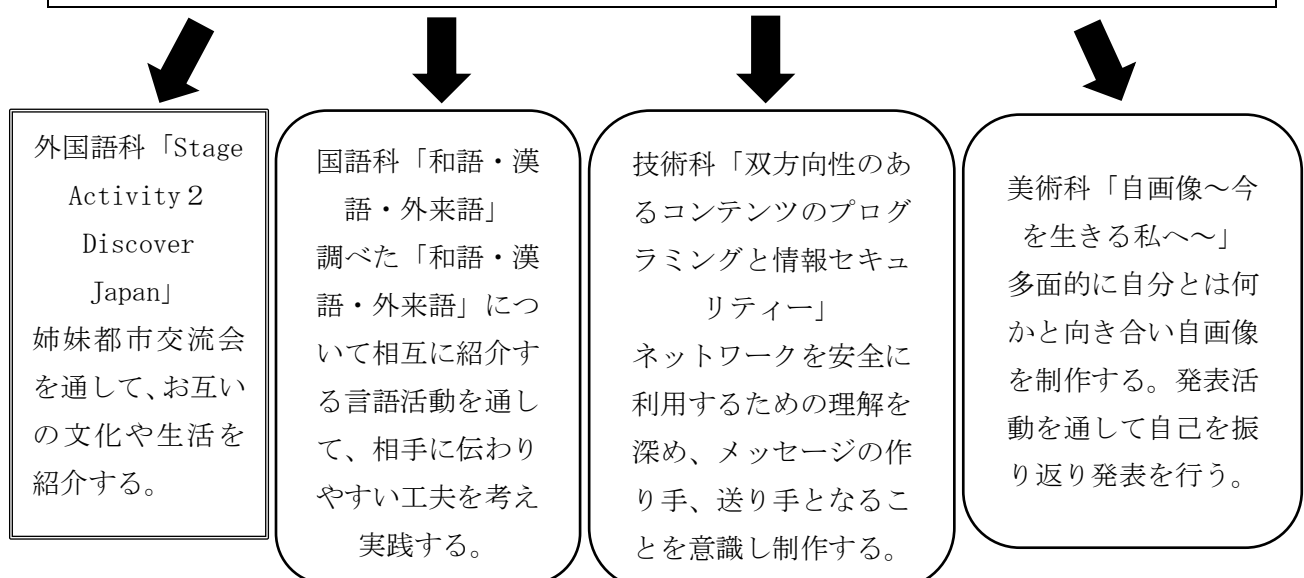
(2) 教科等横断的な視点に立った育てたい力

- 姉妹都市の生徒に日本の文化や生活をより分かりやすく伝えられるよう、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。【国語科：言語能力】
- インターネットなどの情報通信ネットワークの構成と、安全に情報を利用するための基本的な仕組みについての知識を身に付けることができる。【技術科：情報活用能力】
- 創造的な活動の中で自己理解を深め、多様な世界の一人としての自覚をもつことができる。【美術科：問題発見・解決能力】

(3) 共通の育てたい力

- 相手意識をもち、1人1台端末を活用し、図や写真等を交えて自分の考えを効果的に表現することができる。【共通：言語能力】
- 今後のグローバル社会を生き抜くために大切にしたい自分の資質や考えを見いだしていくことができる。【共通：問題発見・解決能力】
- 相手の立場を理解し、自分の考えや気持ちについて分かりやすく伝えようとしたり、質問したりすることができる。【共通：現代的な諸課題】

総合的な学習の時間「グローバルキャリア宣言」



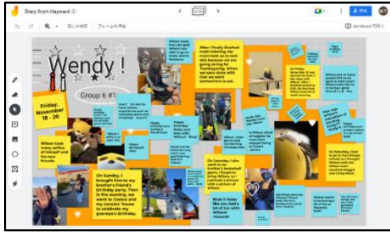
(4) 単元の評価規準

	I 知識・技能	II 思考・判断・表現	III 主体的に学習に取り組む態度
聞くこと		①オンライン会議システム交流会を通して相手の話していることを正確に聞き取っている。	
話すこと	①〔やりとり・発表〕交流会のために書いた文章を、級友相手に話したり、質問したりしている。	①〔やりとり〕相手に分かりやすく、適切な表現を使い質問している。	①〔やりとり〕相手を理解しようとし、書かれた文章を読んだり、意見や感想を伝えたりしようとしている。
書くこと	①既習の文法事項を理解し、日本の文化や生活を紹介する文を正しく書く技能を身に付けている。	①日本の文化や生活を分かりやすく、写真やレイアウトを意識し、まとまりのある文章を書いている。	①日本の文化や他国の文化に興味をもつとともに、調べたこと、考えや気持ち、興味のあることを書こうとしている。

4 指導計画

時	学習活動 ★教科等横断的な学習活動	備考 ★教科等横断的な学習 ◎記録に残す評価 □学習状況の確認
総	★多様な文化背景をもち日本で働く外国の方、海外で働く日本人の話を聞き、情報収集、分析を行う。（千葉県国際交流センターによる多文化共生開発講座を聞く。）【見いだす・自分で取り組む】【総合的な学習の時間】 多文化共生社会について理解をふかめよう。 ★様々な職業や生き方を知り多様な職業観を培い、自分がどんな大人になりたいか、どんな考えをもっている人になりたいかを考える。【広げ深める】【総合的な学習の時間】 ★自分に適した職業観や多文化共生を意識したキャリアビジョンをまとめ、発表する。気付きを共有する。 【まとめあげる】【総合的な学習の時間】 自分のキャリアビジョンをまとめ、グローバルキャリア宣言をしよう。	★多文化共生開発講座の振り返りシートの記入から、わかったことや共感したこと、また、疑問に思ったことを整理している。【情報活用能力】 ★これからの自分のキャリアビジョンを考え、原稿をまとめ、発表用スライドを作成している。【問題発見・解決能力】 ★具体的な自分の目標達成のためや今後の進路に生かしていきたい考えをまとめ、実践につなげている。【問題発見・解決能力】

1	○姉妹都市にある学校との交流会や交換日記を通して、日本の文化や生活を紹介しながらやり取りを行う本単元のゴールを伝える。【見いだす】 姉妹都市交流をしよう。 ・英語で書かれた日本文化を紹介する記事を読む。 ・紹介したいことやどんな話をしたいかを班で考える。 ・姉妹都市について知っていることや知りたいことを考える。	□書くことⅢ①日本の文化や他国の文化に興味をもつとともに、調べたこと、考えや気持ち、興味のあることを書こうとしている。【記録分析】
2	○交換日記で使用するオンラインホワイトボード（ツール）の紹介と共に日記の書き方や、注意点を知る。【自分で取り組む・広げ深める】 ・姉妹都市の調べ学習をオンラインホワイトボード（ツール）を使い行う。 ・インターネットで調べた情報を、写真などを使いオンラインホワイトボード（ツール）にまとめることで、オンラインホワイトボード（ツール）の使い方に慣れる。 ・班ごとに調べた内容を発表して共有する。 オンラインホワイトボード（ツール）の様子	□話すことⅢ①〔やりとり〕相手を理解しようとし、書かれた文章を読んだり、意見や感想を伝えたりしようとしている。【発言分析】 ★1人1台端末等を活用して情報を収集して整理・分析し、自分の考えを形成している。【情報活用能力】
3・4	○姉妹都市からぬいぐるみが到着し、オンラインホワイトボード（ツール）を使用した日記の記入を開始する。【自分で取り組む】 ・紹介したい日本の文化や、ぬいぐるみと共に学校や家庭で体験したことを日記に書く。 ・写真や調べた情報を活用しながらオンラインホワイトボード（ツール）を仕上げる。	□書くことⅠ①既習の文法事項を理解し、日本の文化や生活を紹介する文を正しく書く技能を身に付けている。【記録分析】 □書くことⅢ①日本の文化や他国の文化に興味をもつとともに、調べたこと、考えや気持ち、興味のあることを書こうとしている。【記録分析】
5	○姉妹都市側の日記を読んで、感想や質問を記入する。【自分で取り組む】 ・姉妹都市の生徒が書いた日記を読んで理解する。 ・日記の感想や質問を記入する。	◎書くことⅡ①日本の文化や生活を分かりやすく、写真やレイアウトを意識し、まとまり

	・会話が続けるように質問や提示をして、コミュニケーションの繋がりを考えていく。  オンラインホワイトボード（ツール）の様子	のある文章を書いている。 【記録分析】 □話すことⅢ①〔やりとり〕相手を理解しようとし、書かれた文章を読んだり、意見や感想を伝えたりしようとしている。【記録分析】 ★自分の伝えたいことを明確にし、既習表現を用いて日記を書いている。【言語能力】
6	○姉妹都市交流会に関する発表と質問をまとめて、交流会へ向けた準備を行う。【自分で取り組む・広げ深める】 ・日本の文化や自分について伝えたい内容をまとめる。 ・姉妹都市の事前の調べ学習や日記から、自分が興味をもった内容の質問を考える。 ・姉妹都市の生徒の書いた日記を読んで、日記上での交流を通して、気になったことや質問してみたいことをまとめる。 ・出来上がった文章や質問を班内で共有して、相手に伝わるように工夫する。	□話すことⅠ①〔やりとり・発表〕交流会のために書いた文章を、級友相手に話したり、質問したりしている。【行動・発言分析】 ★姉妹都市の学生に日本の文化や伝えたい内容をわかってもらえるように、自分の考えや気持ちなどを表現している。【言語能力】
7	○姉妹都市交流会（オンライン会議システム使用）を行う。【自分で取り組む・広げ深める】 ・まとめた文章や質問を姉妹都市の生徒に分かりやすく伝える。 ・相手の話している内容を聞き取る。 ・相手の発言に相槌や自分の意見、感想を伝えたり、質問をしたりしている。 ・級友の発表を見て、内容を理解する。 	□聞くことⅡ①オンライン会議システム交流会を通して相手の話していることを正確に聞き取っている。【発言分析】 □話すことⅡ①〔やりとり〕相手に分かりやすく、適切な表現を使い質問している。【発言・行動分析】 ◎話すことⅢ①〔やりとり〕相手を理解しようとし、書かれた文章を読んだり、意見や感想を伝えたりしようとしている。【発言・行動分析】
8	○これまでの学びを振り返る。【まとめあげる】 ・アンケートをもとに、交換日記の反省や良かった点を記入する。 ・アンケートをもとに、自分の考えや感想を伝え合う。	□話すことⅢ①〔やりとり〕相手を理解しようとし、書かれた文章を読んだり、意見や感想を伝えたりしようとしている。【発言分析】

		★自分の考えを相手にはっきりと伝わるように、分かりやすく適切な文で質問をしている。また相手の文化や生活について工夫した質問をしている。【言語能力】
	  	
美	★多面的に自分とは何かと向き合い自画像を制作する。【見いだす・自分で取り組む】【美術】 ★パネルに描き色付けする。【広げ深める】【美術】 ★発表活動を通して自己を振り返り発表を行う。【まとめあげる】【美術】	★自己と向き合い、自分の生き方と照らし合わせながら自分の気持ちや性格、夢や思い出などについて主題を生み出している。【問題発見・解決能力】 ★相手にわかりやすく伝える工夫を考えながら、発表を行っている。【言語能力】
国	★教科書『和語・漢語・外来語』を読み、教材の目標を理解する。語源とはどのようなものかについて理解する。【見いだす】【国語】 ★学校図書や1人1台端末を利用して調べた「和語・漢語・外来語」についてそれぞれワークシートにまとめる。【見いだす・自分で取り組む】【国語】 ・教師による見本を提示し、書き方についてイメージをもたせる。 ・学校図書から集められた本の中から、それぞれの語を探るように促す。 ★お互いが調べた語を紹介しあい、交流する。【広げ深める】【国語】 ・学習の流れを確認し、各自で発表について目標を設定する。 ・発表者の感想メモを書く。	★相手にわかりやすく伝える工夫を考えながら、発表を行っている。【言語能力】 ★集めた材料の客観性や信頼性を確認し、粘り強く情報を整理し、伝えたいことを明確にしている。【情報活用能力】 ★和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。【情報活用能力】 ★場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。【言語能力】

技	★ネットワークを安全に利用するための理解を深め、メッセージの作り手、送り手となることを意識し制作をする。 【見いだす・自分で取り組む】【技術】	★調べ学習を展開していく中で様々な情報を扱い、その情報の安全性や正確性等を考えながら、1人1台端末を活用している。【情報活用能力】
---	---	--

※本実践は、「総合的な学習の時間」の一部を最初に扱い、その後は、「総合的な学習の時間」、「国語」、「美術」、「技術」の各教科等領域における単元を並行しながら指導したものである。したがって、便宜上、指導計画の最初に「総合的な学習の時間」を記載した上で、指導計画の最後に他の3教科をまとめて記載した。

5 実践

(1) 目指す生徒の姿

・学習の基盤となる資質・能力育成について

ア 言語能力の育成Ⅰ（第5時）～オンラインホワイトボード（ツール）を通して～

(ア) 生徒を見取る際の主なポイント

- 自分の伝えたいことを明確にし、既習表現を用いて日記が書けているかを、ルーブリック評価を用いて見取る。
- 書かれた日記を読み取り、既習表現を使い、相手へ質問をしたり、感想を述べたりすることができているかを、ルーブリック評価を用いて見取る。

《ルーブリック評価表》

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
B	いくつかの文法やスペルの間違いが見られる。	日本の文化や生活を分かりやすく書かれている。	・文法の間違いが少なく、分かりやすく書かれている。 ・書かれた日記に対し、返信を行っている。
A	10文程度の文章を文法やスペルなどの間違いがなく、正確に書くことができる。	日本の文化や生活を分かりやすく、写真やレイアウト等を工夫し、まとまりのある文章を書いている。	・文法やスペルの間違いがなく、レイアウト等工夫をし、まとまりのある文章が書かれている。 ・書かれた日記に対し、1週間に感想を含む5回以上の返信を行っている。
C	5文以下の文章で、文法やスペルの間違いが多く見られる。	文章にまとまりがなく、写真やレイアウト等の工夫が見られない。	・文章にまとまりが見られず、文法やスペルの間違いが多く見られる。 ・書かれた日記に対し、返信をしていない。

(イ) 指導と評価の実際

①第5時の授業の概要

ぬいぐるみを用いて取った写真をもとに、自分の生活や日本の文化を踏まえた日記を書く。クラスメイトが書いた日記や、姉妹都市の生徒の日記を読み、相手に返信をする。

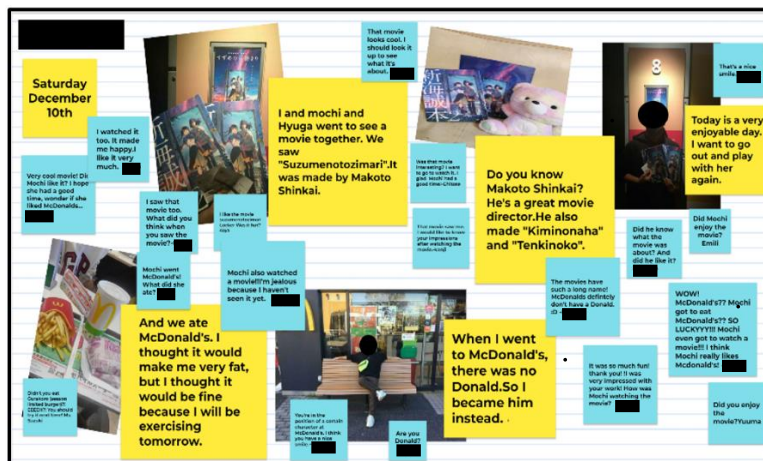
②実際の生徒の姿

○「おおむね満足できる」状況と評価した例



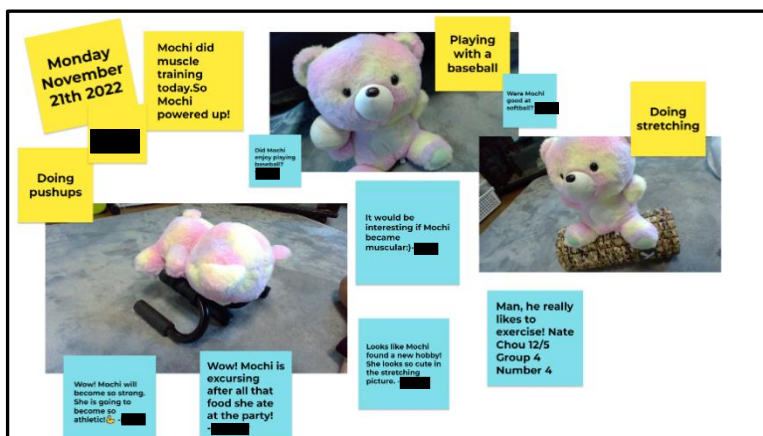
分かりやすく書こうとしているが、内容にまとまりがあまり見られない。また、返信内容においても、「Nice!!」や「Cute」等、あまり具体的でないものもある。しかし、Look+形容詞等の既習事項を使い記入ができています。seem to といった、習っていない表現は調べて書かれていることがうかがえる。

○「十分満足できる」状況と評価した例



文法のスペルミスがなく、まとまった内容が書けている。また、読み手を意識し、疑問文を入れて興味関心を引く書き方の工夫がされている。映画やアニメ等の日本文化や世界中にあるマクドナルドを取り上げる等、内容だけでなく、レイアウトにも工夫が見られる。

○「努力を要する」状況と評価した例



文章量が乏しく、内容もまとまりがない部分がある。また、文法的な間違いや、文になっていない箇所、適切に書けていない箇所があるため、努力を要すると判断した。

イ 言語能力の育成Ⅱ（第8時）～姉妹都市交流会を通して～

（ア） 生徒を見取る際の主なポイント

○姉妹都市の学校との交流会を通して、自分の考えを相手にはっきりと伝わるように、分かりやすく適切な文で質問をしているか、また相手の文化や生活について工夫した質問をしているかを見取る。

○クラスメイトの発表を見て、質問や発表内容の良いところを生かし、自分の発表につなげているかを見取る。

（イ） 指導と評価の実際

①第8時の授業の概要

前日までに作成した質問資料をもとに、実際にオンライン会議システムを使った交流会での班ごとのコミュニケーション活動を行う。同システム内の個別対話ツールを使用して、班ごとにグループでの発表ができるようにセッティングを行う。6人班で2名ずつ、5分間のコミュニケーション時間を使い、質問を行っていく。

②実際の生徒の姿

○「おおむね満足できる」状況と評価した例

いくつかの発音や質問事項に文法的間違いが見られるが、概ねつかえることがなく、相手に質問をすることができる。相手の質問に対し Yes や No 等の短文で答えることができている。

○「十分満足できる」状況と評価した例

設定した質問を発音やイントネーションに気を付けて、正しくスムーズに読むことができている。相手の質問を聞き取り、ジェスチャーを付ける等して相手に伝えようと意識して答えることができている。

○「努力を要する」状況と評価した例

相手を意識して伝えようとしているが、発音やイントネーションに課題があり、声の大きさやスムーズさが十分でなく、相手に伝わっていない。相手の質問に対し、黙ってしまったり、日本語を話したりして、答えようとする意欲が見られない。

（2）実践を終えて

《実践を終えて》

1 学習の基盤となる資質・能力について

総合的な学習の時間では3学年のテーマ「キャリア・進路」に沿って、「グローバルキャリア宣言」の学習が行われた。日本で働く外国人と外国で働く日本人からの講義を中心に、自己の興味や適性を踏まえながら今後を生きる上で大切にしていきたいことや自分のキャリアビジョンを宣言としてまとめ、相手に伝わりやすい工夫をしながら発表活動を行った。その学習を中心とし教科等横断的に学習を深めた。

今回の実践を通し、**問題発見・解決能力の育成**の面では、国際理解教育における自身を知るための活動（美術科）や相手を意識した活動（外国語科）で、「相手により分かりやすく話すためには」「自国の文化や自身のもつ習慣とは」といった疑問を生徒はもち、自己理解を深め、大切にしたい自分の資質や考えを見いだそうとする姿が見られた。また、姉妹都市交流の中で自己の文化や地域のこと、また自分自身のことを考えること（外国語科・美術科）や、自分の大切にしたい資質や考えを見だし、表現していく活動（総合的な学習の時間）は双方に

関連し合い、自身の将来に対する関心を深める探究的な学習へと昇華していった。外国語科での他国の同世代の生徒との交流を通して、多様な文化背景を学ぶことや、お互いを理解する力だけでなく、これからの国際社会にむけた自身の将来を考えるきっかけにもつながり、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成にもつながりができたと考える。

情報活用能力の育成の面では、外国語科の授業で学んだ文法や語彙を使い、自分の考えをまとめ質問の設定や発表方法の工夫をすることができた。考えをまとめる活動では、国語科で学んだ伝え方のポイントや考えのまとめ方等の学習が生かされた。また、姉妹都市交流会では、相手を意識し相手の質問や場面に応じて情報を整理して、自分の答えを伝えたり、相手に質問したりすることができた。オンラインホワイトボード（ツール）を活用し、授業で学んだ表現を用いながら自分の考えをまとめたり、相手の日記を読み、自分の感想を伝え合う活動を繰り返す中で、より効果的な表現を考え、視覚的な効果を狙うためにインターネットから情報を得たり、写真やイラストを使ったりする等、外国語科の学習の中での工夫につながった。また、インターネットで情報を収集する中で、得た情報を精査し、その情報の信憑性を考えることや、情報モラルを意識するという技術科で学んだことを、外国語科の活動の中でも取り入れることで、外国語科、技術科、双方の学習を深める活動となった。

言語能力の育成の面では、各教科での発表活動やプレゼンテーション活動が関連し、より良い発表をするための工夫や聞き手を意識した発表のための学習として相乗効果が見られた。特に国語科では、調べた「和語・漢語・外来語」を相手に分かりやすく紹介する活動の中で、日本語の表現をより詳しく調べ、新たに学ぶ語彙や表現の広がり、自身の言語基盤として培われ、外国語科の活動においても新たな英語の語彙を調べるきっかけとなった。外国語科、国語科双方での言語の基礎に結び付く活動となった。また、日本語の文化を考えると（国語科）、自己の文化を考え紹介する活動（外国語科）も、自己を見つめる活動（美術科）と繋がり、関連し合い、それぞれの教科での学習に広がりをもたらした。

2 教科等横断的な視点に立った評価について

発表やプレゼンテーション活動の取り組みが多く教科で行われている中で、情報活用能力や言語能力の育成が行われ、学習の基盤となる能力は深められている。教科等横断的な視点に立った評価に関しては、総合的な学習の時間と他教科の中で、日本の文化や生活等を紹介する文を詳しい情報を加えながら、知識・技能を相互に関連付けることができた。思考・判断・表現等については、姉妹都市の生徒に日本の文化や生活をより分かりやすく伝えられるよう、写真やレイアウトを意識することや、相手からのメッセージを読み取り自分の意見をまとまりのある文章で書くことで、情報の収集、整理分析、まとめ・表現においての力が高められることを見取ることができた。そして主体的に学習に取り組む態度については、自分自身のことや他者に関する関わりの両方においての学習の深まりを見取ることができた。相手意識をもち、分かりやすく伝えたいという思いが強まり、自己を内省したり、自国の文化や歴史をより細かく調べたりと深まりがある学びにつながった。英語科ではルーブリック評価表の評価の内容の工夫につながった。中学校では、教科担任制により担当者の教科のみに評価の重点が置かれるが、教科間の連携をより深め、それぞれの教科の評価につなげていけると、さらなる学習の広がりを感じる取り組みになることが分かった。